

2013年4月

モネ、ルノワール、セザンヌ、ピカソ…
フランス美術の巨匠たち



ピエール＝オーギュスト・ルノワール「褐色の髪の浴婦」1909年

公益財団法人 日動美術財団

笠間日動美術館

茨城県笠間市笠間 978-4 Tel 0296-72-2160/Fax 0296-72-5655

<http://www.nichido-museum.or.jp>

関係各位

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

笠間日動美術館フランス館では、「モネ、ルノワール、セザンヌ、ピカソ…フランス美術の巨匠たち」を開催中です。フランス館は、より多くの皆様に海外作品に親しんでいただけるよう、1997年に常設館として開設しました。

この度は、フランス画壇で活躍した画家たちの作品に焦点をあて、所蔵品および、近年ご覧いただく機会がなかった10点余りの名作を公開いたしました。19世紀後半から現代へと続くフランス美術の流れをご覧いただければ幸いです。

以下に、展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご報道、ご紹介を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

■ 展覧会内容・作品について

本展は19世紀風景画の巨匠、コローの作品で幕を開けます。

コローはフランス各地をめぐって森や湖に取材し、詩情豊かな絵画世界を創造しました。

戸外での制作を重視し、光の効果を取り入れた画風は、印象派やポスト印象派の画家らに影響を与えました。

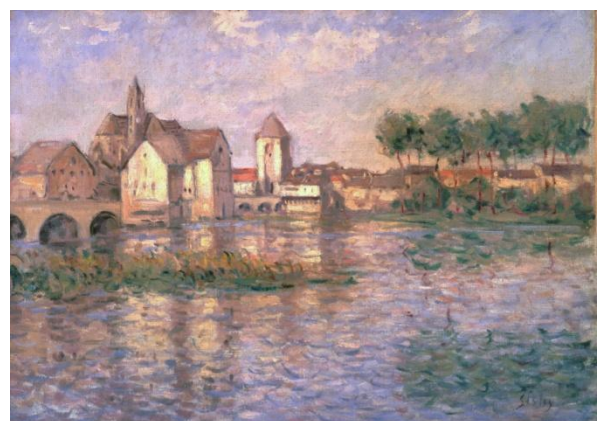
コロー「聖なる泉」1872年



続くドガ、ルノワール、モネ、シスレーら印象派の画家たちは、固有色を否定し時間や季節によって変化する光の効果をカンヴァスに捉えました。

会場では、モネの「ヴェトウイユ、水浸しの草原」とシスレーの「モレ=シュル=ロワン」を並べて展示しています。この二人の画家は、生涯を川畔の村々で暮らし、水辺の風景を好んで描きました。水面の描き方を見比べるのも一興でしょう。

シスレー「モレ=シュル=ロワン」1892年



またルノワールの「褐色の髪の浴婦」は、ルーベンスの影響を感じさせる豊満な裸婦像。見逃すことができない名作です

ポスト印象派からは、セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャンらの作品をご覧ください。また彼らと同世代の画家であるルドン、素朴派の代表的画家ルソーの作品も紹介します。ゴーギャンのタヒチ時代の「夢」、ルドンの「神話」など忘れがたい名作がそろいました。

彼らは 20 世紀初頭におこるフォーヴィスム、キュビズムなどの革新的な絵画運動への架け橋の役割を果たしました。



ゴーギャン「夢」1892年
右 ルドン「神話」1900年



フォーヴィスムは 20 世紀最初の絵画運動です。その代表的画家ヴラマンクの「花瓶の花」、ルオーの大作「田舎の法廷」は、大胆な筆致で私たちを魅了します。

ピカソは 20 世紀美術最大の巨匠の一人です。20 歳で描いた「画家の妹 ローラの肖像」は本展の見どころのひとつ、小品ながら女性に内在する熱情をも感じさせる名作です。

ユトリロ、ローランサン、藤田嗣治らのエコール・ド・パリの作品も見応えがあります。

シャガールの「川岸を散歩する人々」の舞台はパリ。女性や馬、鶏などシャガールおなじみのモチーフが夜空に浮遊する見逃せない 1 点です。



20 世紀後半のフランス画壇には、セザール、サンファルらが華々しく登場しました。彼らは 1960 年にはじまった芸術運動ヌーヴォーレアリズムに参加し、大量生産品や消費されたあとの廃棄物を用いて制作、また人物や動物など具象的なイメージの彫刻等を創造しました。

エントランスでは、アンフォルメル旗手デュビュッフェ、現代フランス具象絵画を代表するルシユーール、ボッテらの作品を展示中です。

またデッサン室ではドガ、セザンヌ、スーラらの優れた水彩、パステル画などをご覧ください。館内をめぐり、19世紀後半から現代にいたるフランス美術の変遷をお楽しみください。

■ 展示作品

コロー、ドガ、ルノワール、モネ、シスレー、ルソー、ルドン セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャン、ボナール、マティス、ヴラマンク、ルオー、ヴァン・ドンゲン、デュフィ、ピカソ、レジェ、カンディンスキー、ユトリロ、シャガール、フジタ、スーチン、ローランサン、エルンスト、マッソン、マグリット、セザール、サンファル、デュビュッフェ、ルシユーール、ボッテなど約60点

■ 展覧会の概要

展覧会名 モネ、ルノワール、セザンヌ、ピカソ…フランス美術の巨匠たち

会期会場 3月9日(土) - 6月2日(日) 笠間日動美術館 フランス館

※ 企画展示館では「自然美を謳う 金山平三・佐竹徳の世界」を開催中

主催 公益財団法人 日動美術財団

開館時間 午前9時30分より午後5時(入館受付は4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(但し4月29日、5月6日は開館、5月7日は休館)

入館料 大人1000円、大学・高校生700円、中学・小学生500円、65歳以上800円
春風萬里荘(北大路魯山人旧居)との共通券 大人1,400円、大学・高校生900円、
中学・小学生600円、65歳以上1,100円(20名以上の団体は各200円割引、障害者手帳をお持ちの方、その同伴者1名は各半額割引)

■ 交通案内

JR利用 ・常磐線友部駅(9:50/10:50/11:50発)より『かさま観光周遊バス』(100円)
または市内循環バスで約15分。「日動美術館入口」下車徒歩2分。

・水戸線笠間駅より徒歩約20分(日動美術館・春風萬里荘共、但し方向は逆)
『かさま観光周遊バス』またはレンタサイクルの利用が便利です。

自動車利用 ・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道355号線経由約6km

・東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道50号線経由約8km

■ 画像のお問い合わせ

k-museum@nichido-museum.or.jp

笠間日動美術館 茨城県笠間市笠間978-4

TEL 0296-72-2160

<http://www.nichido-museum.or.jp/>

以上